

# SYOHEI ニュース 令和8年5月号

## 新任医師の紹介：4月1日付

### 総合水沢病院

副部長兼外科長 塚本信和先生が着任しました。  
 神経内科医長 佐藤一輝先生が着任しました。  
 内科医師 小木田勇馬先生が着任しました。  
 内科医師 浅利寛喜先生が着任しました。  
 麻酔科医師 鈴木桂子先生が着任しました。

### まごころ病院

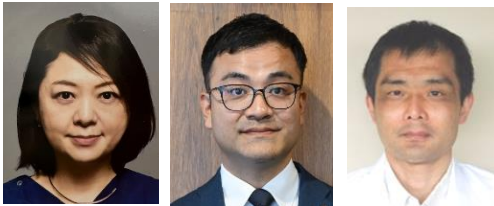
内科医師 津島太陽先生が着任しました。

### 衣川診療所

医長 村澤哲也先生が着任しました。



塚本信和先生 佐藤一輝先生 小木田勇馬先生 浅利寛喜先生



鈴木桂子先生 津島太陽先生 村澤哲也先生

## 令和8年度義務履行勤務

### 常勤医師

村澤哲也医師 衣川診療所 (消化器外科)  
 佐藤一輝医師 総合水沢病院 (神経内科)  
 津島太陽医師 まごころ病院 (総合診療科)

### 診療応援医師

澤 陽平医師 総合水沢病院 (循環器内科)

## 令和8年度奨学生1名を採用

医師養成事業奨学生を1名採用し、令和元年の制度改正以降7年連続で10名の採用です。

年度別貸付数：令和元年の制度改正以降

区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	合計
人数	3	1	1	2	1	1	1	10

## 令和8年度医師養成事業スタッフ紹介

医師確保推進室長 桂田正勝 主幹 浦川敏明  
 主任 渋谷翔汰 室員 尾形盛幸

## 奥州市立2病院、3診療所紹介

### 総合水沢病院

水沢大手町3-1  
 院長 遊佐 透  
 常勤医師13名  
 標榜科：内科、小児科、循環器内科、外科、整形外科、泌尿器科、精神科、麻酔科、神経内科、耳鼻いんこう科  
 一般病床 95床(運用病床) 感染症病床4床



### 国保 まごころ病院

胆沢南都田字大持40  
 院長 伊藤 正博  
 常勤医師6名、歯科医師3名  
 標榜科：内科、小児科、循環器科、消化器科、外科、整形外科、歯科口腔外科  
 病床数 一般病床 48床



### 国保 前沢診療所

前沢字立石180-1  
 所長 鈴木 順  
 常勤医師 1名  
 標榜科：内科、呼吸器内科、循環器内科



### 国保 衣川診療所

衣川古戸48-3  
 医務技監 高橋 久行  
 常勤医師 2名  
 標榜科：内科、リハビリテーション科  
 病床数 一般病床19床



### 国保 衣川歯科診療所

衣川古戸52  
 所長 佐々木 健  
 常勤歯科医師 1名  
 標榜科：歯科、小児歯科



## SYOHEI ニュース発刊の経緯

令和2年4月から医師養成事業の養成医師・奨学生(含家族)の皆様、奥州市及び市の医療施設を知っていただく取組みとしてSYOHEI ニュースを作成し、市の広報誌「広報おうしゅう」と共にお送りしています。市医療局ホームページ『奥州市医師養成事業情報館』に、72号までのバックナンバーを掲載しています。

医師招聘と当市出身の大谷翔平選手の名を絡めて「SYOHEI ニュース」と命名しました。

## 大谷翔平選手の成績ボード (R8.4.22 現在)

打者 試合数23 打率271 本塁打5 打点11 盗塁1  
 投手 試合数3 勝利2 敗戦0 防御率0.50 奪三振18

『SYOHEI ニュース』は市医師養成事業関係者の情報紙です。  
 令和8年4月23日発行 奥州市医療局医師確保推進室  
 〒023-0053 奥州市水沢大手町3-1 TEL0197-25-3833  
 医療局HPにバックナンバー掲載中 発行ナンバー 73号

# 胆沢城跡歴史公園

＝外郭南門地区：水沢佐倉河字四月・九蔵田地内＝

広報おうしゅう 令和元年7月 奥州遺産第106回



1



2



3



1 胆沢城跡歴史公園入口。国指定史跡を知らせる看板が出迎える 2 立体復元した築地と柱表示を行った外郭南門跡。胆沢城を囲んでいた土塀である築地は、長さ各15mをパネル工法で復元した 3 外郭南門跡の掘立柱構造の復元模型。重い瓦屋根を支えるために玉石が詰められている 4 アプリ「AR胆沢城」で外郭南門跡を再現したコンピューターグラフィックス画像



4

水沢佐倉河地区の田園地帯に広がる胆沢城跡。坂上田村麻呂が802年築いた城柵跡の一部が、今年6月に歴史公園として生まれ変わった。

整備されたのは、胆沢城の正門に当たる外郭南門地区。公園入口から、南大路を北へと進んでいくと、そそり立つ築地が目前に迫ってくる。調査結果を基に復元された築地の高さは5.4mにも上り、胆沢城が軍事の拠点であったことを私たちに伝える。

築地の間には、かつて東北の古代城柵で最大規模の外郭南門が存在した。南門跡には、掘立柱構造の模型が設置され、当時の建築技法をうかがうことができる。また、スマートフォンなどで専用アプリを使用すれば、実物大の門を画面越しに見ることも可能だ。

1200年前、蝦夷と呼ばれた人々は、巨大な門を見上げて何を思ったのか。歴史公園で当時の空気を感じ取り、人々の気持ちに思いをはせてほしい。

奥州遺産  
—ときを越え  
届け継がれるもの—  
第106回